

大口南小学校との姉妹校交流について①

【裁断橋の縁で大口南小学校と姉妹校に】



平成8年、裁断橋と擬宝珠が復元された堀尾跡公園（大口町）

昭和41年堀尾家の屋敷のあった大口町の小学校との交流が始まりました。「裁断橋物語」は、現在でも両校にとって、大切なお話として語り継がれています。



大正15年に裁断橋は壊され、現在では擬宝珠のみ残されている（熱田区白鳥学区）

【「裁断橋物語」について】



天正18年の小田原攻めで息子を失った母親が、最後に別れを告げた思い出の橋（裁断橋）を二度架けかえる物語。架けかえる時に、息子に対する母親の想いを文として、橋の擬宝珠にきざんだ。この地を訪れる人々に息子のことを知ってほしいという母親の切なる願いが込められている。なお、この文章は、日本女性三銘文の一つに数えられている。

擬宝珠にきざまれた銘文の内容

天正十八（一五九〇）年二月十八日に
小田原への御陣に 堀尾金助という
十八になった子を出発させてから
もうこの世では二度と会えなくなった
悲しみのあまりに 今 この橋を
架けるのです

母の身には涙の種ともなりますが

安らかにねむって下さい

※ 逸岩成俊と

※ 金助の法名

後の世のまた後まで

この書きつけを見る人は

仏様においのりして下さい

わが子の三十三年の供養です



「大口町歴史民俗資料館」資料より
銘文をわかりやすくしたもの

大口南小学校との姉妹校交流について②



裁断橋でお出迎え



記念品交換



グループ散策・昼食

大口南小学校5年生が白鳥の子とグループを組んで、楽しく散策しました。八剱社の「金助と母」の銅像を見たり、菩提寺を訪れたりしました。

天候が少し心配のため、お弁当は、大口南小学校に移動し、体育館で食べました。



平成28年6月9日 交歓会

白鳥小5年生が大口町の堀尾跡公園へ



銘文暗唱の発表

大口南小学校の4～6年生と白鳥小5年生の子どもたちが一斉に暗唱を発表。

大口南小学校との姉妹校交流について③

平成29年6月19日 交歓会

大口南小5年生が白鳥小学校へ

交歓会式典

熱田区長さんのお話、歓迎の児童代表のこたば、大口町教育長さんのお話の後、裁断橋擬宝珠銘の暗唱を行いました。



熱田区長 丹下様からのお話



銘文暗唱の発表

白鳥小学校の4～6年生と大口南小5年生の子どもたちが一斉に暗唱を発表。



グループ散策・昼食

白鳥小学校5年生と大口南小学校5年生がグループを組んで、楽しく散策したり、お弁当を食べたりして過ごしました。

今回は、「熱田神宮ボランティア観光ガイド」の方々にご協力をいただき、熱田神宮の案内をしてもらいました。子どもたちは、たくさんの新しい発見をすることができました。

